

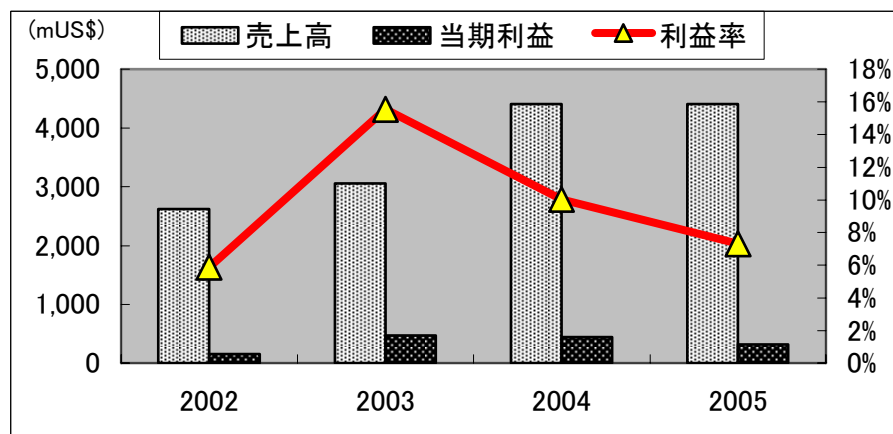
13. Newmont Mining Corporation (ニューモント社)

1. 企業概要

本社	米国・デンバー
主要事業〔鉱種〕	金・非鉄金属鉱山・製錬〔Au,Cu,Zn〕
従業員数	14,996人(2005年12月末)
決算日	12月末日
主要関連会社	<ul style="list-style-type: none"> ・Battle Mountain Gold Company (バトル・マウンテン・ゴールド[®]: 100%) ・Franco-Nevada Mining Corporation Ltd (フランコ・ネバダ[®]・マイニング[®]: 100%) ・Minera Yanacocha SA (ヤナコチャ: 51.35%) ・Normandy Mining Ltd. (ノルマンディー[®]・マイニング[®]: 100%)

2. 財務状況 (mUS\$)

	年度	2005	2004	2003
売上高 Sales〔①〕		4,406	4,524	3,158
当期利益 Net income (loss) 〔②〕		322	443	476
利益率〔③=②/①〕		7.3%	9.8%	15.1%
資産 Total assets		13,992	12,771	10,698
流動資産 Current assets		3,036	2,721	2,359
負債 Total liabilities		4,685	4,058	2,967
流動負債 Current liabilities		1,350	1,101	843
純資産 Net assets〔④=①-⑤〕		9,307	7,938	7,385
探鉱費 Exploration Spending Totals ※		147	147.5	81.5



Newmont: 売上高、当期利益、利益率の推移

3. 主要鉱産物の生産・開発状況〔※鉱山名(所在国,権益比率):生産量は権益分〕

年度	2005	2004	2003	‘05年の世界シェア等
金鉱 (t)	206.1	210.1	225.2	第2位(9.2%)
Nevada (米,100%)	75.7	76.5	79.6	
Minara Yanacocha (ペルー,51.35%)	53.2	48.2	45.5	
Tanami (豪 NT,100%)	15.2	19.9	19.6	
Kalgoorlie (豪 WA,50%)	12.7	14.1	13.1	
Batu Hijau (インドネシア,56.25→52.875%(1.Oct.04))	12.0	12.6	10.5	
Jundee (豪 WA,100%)	10.6	11.0	18.4	
Pajingo (豪 Q,100%)	6.0	7.5	10.6	
Zarafshan (ウズベキスタン,50%)	3.9	6.4	6.8	
Golden Giant (カナダ Ontario,100%)	5.0	5.0	7.1	‘05年12月閉山
Martha (ニュージーランド,100%)	5.1	4.0	3.4	
Holloway (カナダ Ontario,84.65%)	1.5	2.1	2.0	‘06年9月売却
La Herradura (メキシコ,44%)	2.5	2.1	2.1	Peñoles56%
Mesquite (米 CA,100%)			1.5	‘03年11月売却
Kori Kollo (ボリビア,88%:貯鉱処理)	2.7	0.7	4.8	‘03年10月採掘終了
銅鉱 (kt)	154.6	201.6	188.2	第17位(1.0%)
Batu Hijau (インドネシア,56.25→52.875%(1.Oct.04))	143.1	183.1	161.9	
Golden Grove (豪,100→0%(1.Jul.05))	11.5	18.5	26.2	05年6月売却
亜鉛鉱 (kt)	36.4	46.3	54.7	
Golden Grove (豪,100→0%(1.Jul.05))				

4. 沿革

Newmont は、銅、金などの非鉄金属事業、石油、天然ガス、石炭などのエネルギー資源事業を対象とした持株会社として設立された。80年代後半より事業を金に特化し、2001年の産金量は世界3位であったが、2002年2月に豪 Normandy 社及び加 Franco-Nevada 社を買収し、2005年には世界最大の金生産企業となった。

1921年・ニューヨークの投資家 C. W. B. Thompson 氏は、エネルギー・鉱物資源を対象とした持株会社 Newmont Corp. 社を設立した。「Newmont」は、New York と Thompson 氏の故郷 Montana に因んだものである。なお、同社設立当時の権益保有会社には、Hudson Bay Mining & Smelting Co Ltd. (ハドソン・ベイ)、Magma Copper Co. (マグマ・カッパー) 等がある。

当初、Newmont 社は投資専門会社として事業を立ち上げたが、設立後すぐに鉱山開発・経営に進出、30年代前半までに北米で12の金鉱山を操業するに至った。また、ペルーに探鉱活動を目的とした New Verde Mines Co. 社を設立、南アでは Newmont 社自らが O’okiep (オーキープ) 銅・金鉱山の探鉱・開発に乗り出すなど、国内外を問わず金、銅を対象として幅広く事業を展開した。しかし、世界恐慌、ルーズベルト不況などの影響による金属価格の下落、探鉱・開発の不調が原因で、30年代は業績が伸び悩んだ。

第二次大戦後、O’okiep 銅・金鉱山及び、ナミビアの Tsumeb (ツメブ) 銅・鉛・銀鉱山における高品位な銅鉱石の生産が始まり、Magma Copper Co. による Arizona 州の San Manuel (サン・マヌエル) 鉱山発見と同社に対する増資、ペルーの Southern Peru Copper Corp. (SPCC 社) および南アの Palabora Mining Company (パラボラ・マイニング) 鉱山を含む国外企業への投資の成功などが重なって、Newmont 社は飛躍的な成長を遂げた。

1961年・米国 Nevada 州 Carlin (カーリン) 地方において Carlin trend (カーリン・トレンド) 金鉱床帯を発見。

1965年・Carlin Gold Mining Co. (カーリン・ゴールド・マイニング) を設立して同鉱床帯の操業を開始した。

1977年・コンソーシアムにより国内最大の石炭プロデューサー Peabody Holding Co. Inc. (ピーボディ・ホールディング) 社の権益50%を取得した。

1985年・インドネシアにおいて現地企業との J/V で PT Newmont Nusa Tenggara (ピーティー・ニューモント・ヌサ・テンガラ) 社を設立し、Sumbawa (スンバリ) 島の 1.23 百万 ha 以上の鉱区について第4世代 CoW (Contract of Work: インドネシアの外国資本に対する探鉱・開発契約) を締結した。

後に 88 年の Batu Hijau 金・銅山の発見に繋がる。

1986 年・Carlin Gold Mining Co.社は Newmont Gold Co.に社名を変更した。

1987 年・3 月、資産整理・負債返済の一環として、既に権益 100%を保有していた Magma Copper Co.の権益 80%を株主に特別配当し、5%を自社の従業員に割当てた。当時、Magma Copper Co.は、Arizona 州における銅製錬設備の拡張、酸化鋇リーチング設備の新設、更には Newmont 社が有する Pinto Valley (ピント・バレー)銅山の買収を進めており、資金繰りが悪化していた。

1988 年・残りの権益 15%を Magma Copper Co.自身に売却し、同社は Newmont から完全に独立した。更に、Newmont は、石油、ガスおよび米国、カナダ、南アなどに所有していた銅資産を処分し、事業対象を金に特化した。

・インドネシア Sumbawa 島に Batu Hijau 金・銅鋇床を発見した。

1989 年・本社を Newmont Gold Co.と同じ米国 Colorado 州 Denver に移転した。

1997 年・米 Nevada 州に複数の金鋇山・鋇石処理プラントなどを保有していた Santa Fe Pacific Gold Corp. (サンタ・フェ)を 2.4bUS\$で買収し、Twin Creeks (ツイン・クリークス)鋇山などを取得して、世界第 2 位の産金企業となった。

1998 年・Newmont Gold Co.の残りの権益 6.25%を買収し、同社を 100%子会社とした。この買収により、94 年より進めていた両社の系列化が完了した。

2000 年・6 月、カナダ、豪州、ボリビアに金鋇山を有する米 Battle Mountain 社の買収を発表し、01 年 1 月に買収を完了した。これにより、Golden Giant & Holloway (カナダ Ontario 州)、Kori Kollo (ボリビア)、Vera Nancy (豪州,50%)、Lihir (PNG)の権益を手中にした。

2001 年・豪 Normandy 社の買収を発表し、Normandy 社との合併を進めていた米 Franco-Nevada 社とともに 02 年 2 月に買収を完了した。これに伴い、カナダ TVX Gold 社と Normandy 社との JV である TVX Normandy Americas 社の資産も引継ぎ、TVX Newmont Americas 社となった (TVX Gold 社 50.1%、Newmont 社 49.9%)。

2002 年・2 月、豪 Normandy 社及び加 Franco-Nevada 社を買収。

・6 月、Kinross Gold 社、TVX 社、Echo Bay Mines 社の 3 社が合併することとなり、Newmont 社が所有していた TVX Newmont Americas 社や Echo Bay Mines 社に所有する権益は売却等により新 Kinross 社に移され、最終的に新 Kinross 社の権益 4.9%を保有することとなった。

2002~03 年・資産や操業を見直すとともに、特に、管理と探鋇部門を統合させて既存施設の経済的な有効活用をほぼ完了させた。更に、利益の低い部門やコア事業ではない部門の売却を行った。

2003 年・11 月、Newmont 社は 2,500 万株を公開し、1bUS\$の収入を得た。

2004 年・1 月、Placer Dome の Turquoise Ridge、Getchell 両金山の権益の 25%を取得した。

また、原油価格上昇に対するヘッジのために Canadian Oil Sands 社の 6.6%の株式を取得し、生産コスト削減強化のために Nevada 州に石炭火力発電所の建設に着手した。また、BHP Billiton と共同で行っているギニアの Euronimba 鉄鋇石プロジェクトに対する投資も増額した。

2005 年・3 月、インドネシア環境省は、Newmont の現地子会社、PT Newmont Minahasa Raya 社に対し、北 Sulawesi (スラウエシ)州 Buyat Bay で水銀と砒素を金鋇山の近くの Buyat 湾に廃棄したことに伴い鋇害が発生したとして鋇害民事訴訟を行い、133mUS\$の損害賠償を請求した。11 月 15 日、同地裁は同問題に関する法律上の公的管轄権を持たないとして環境省の請求を却下した。Newmont は今回の判決を歓迎し、環境省と和解交渉を進める方針。なお、WHO と豪 CSIRO の検査では、湾は危険なレベルの重金属は含んでいない旨の結果が提出されている。

2006 年・1 月、Newmont は Akyem の残り 15%の権益を Kenbert Mines から取得し、権益は 100%となった。

・2 月、Newmont 社は公害問題に関する民事訴訟において 30mUS\$をインドネシア政府に支払うことで和解し、政府は訴訟を取り下げた。

- ・4月、Newmont社は2002年にNormandy社から買収したスマトラ島のMartabe金鉱プロジェクトについて、経済性が悪いことを理由に売却する方針を発表した。
 - ・7月、Newmont社はAgincourt Resources社(豪)の権益の20%を取得して筆頭株主となる一方、Agincourt社はNewmont社からMartabe金鉱プロジェクトを取得する方針。
 - ・8月、Yanacochaで求職と水質汚染による農地への影響を理由とした地元住民の抗議活動により、一時的に操業が停止。
 - ・8月、Ahafo(ガーナ)金山が生産開始。
 - ・9月、ウズベキスタン最高裁判所はZarafshan低品位金回収合弁事業の2002～05年間の納税違反額36mUS\$を申し渡した。(ウズベキスタン地下資源法は2002年12月に改定され金鉱業に対するロイヤルティーは53.7%の高率に設定されていた。ちなみに銅は8.1%、亜鉛・鉛1%。)
 - ・10月、Nevada OperationでPhoenixとLeevilleがそれぞれ1日、14日に生産を開始。
 - ・10月、ウズベキスタン最高裁判所よりZarafshan低品位金回収事業の納税違反で告訴。
- 2007年・1月Zarafshanに有するNewmontの保有資産のオークション中止(Newmontの見積もりによる450mUS\$に対してウズベク政府は139mUS\$と見積もっている。)

5. 事業内容

Newmontは、2004年12月現在、米国、カナダ、メキシコ、ペルー、ボリビア、豪州、ニュージーランド、インドネシア、ウズベキスタンに金鉱山の権益を保有している。

(1) 北米

米国・NevadaにCarlin Trend(カーリン)金鉱床帯を中心に13露天掘鉱床と4坑内掘鉱床を有する。2005年のNevadaにおける金生産量は、南ア、豪州に次いで、世界第3位の規模に相当する。

カナダでは、Golden Giant(ゴールドテン・ジャイアント)鉱山、Holloway(ホローウェイ)鉱山を保有する。

2005年 主要権益保有金山の埋蔵量と生産量

オペレーション名	権益 (%)	鉱量 ¹ (mt)	品位 Au(g/t)	採掘タイプ	生産量(t) (権益分)
Nevada(ネバダ,米国)	100	699.3	1.5	OP、UG	75.7
Golden Giant(ゴールドテン・ジャイアント,カナダ)	100	0.5	9.6	UG	0
Holloway(ホローウェイ,カナダ)	100	1.4	5.9	UG	?

Nevada(米 Nevada州)

Newmontの金生産の約35%をTwin Creeks(ツイン・クリークス)鉱山、Lone Tree(ローン・ツリー)鉱山、Midas(ミダス)の三山からなるNevadaが占めている。Nevadaでの金生産は、鉱石の種類・品位に応じて処理方法が異なるが、難処理鉱の比率が高まりつつある。

Leville(米 Nevada)

開発中のLevilleはNewmont社にとってはNevadaで初の立坑による坑内掘鉱山である。2005年第3四半期に生産を開始し、年間14～17tの金生産を見込んでおり、2007年にフル生産となる。

Phoenixプロジェクト

進行中で、生産開始は2006年に予定されており、年間11～13tの金と10,000tの銅の生産が見込まれている。

Golden Giant 鉱山

2005年第4四半期に採掘を終了し、06年には金生産も完了する予定。

(2) 中南米

La Herradura(ラ・エラトゥーラ,メキシコ)、Yanacocha(ヤナコチャ,ペルー)、Kori Kollo(コリ・コジョ,ボリビア)の各金山に権益を有する。

¹ 鉱量は Proven と Probable Reserves の合計

La Herradura(ラ・エラトウラ,メキシコ)

メキシコの Sonora 砂漠の Mesquite の南東 400km に位置する。露天掘鉱山とヒープリーチングの設備を有する。オペレーターは 56% 権益を有する Peñoles である。

Yanacocha(ヤマコチャ,ペルー)

Minera Yanacocha 社 (Newmont 51.35%、Buenaventura 43.65%、IFC (国際金融公社) 5%) は、南米最大の金生産企業である。ペルー北部のアンデス山の高地に位置し、生産を開始した 1993 年以降開発が進展し、露天掘 6 箇所 (Yanacocha, San Jose, La Quinua, Carachugo, Maqui Maqui, Cerro Negro)、5 リーチング施設、2 つの処理プラントを有する。最新の La Quinua ピットは、2001 年第 4 四半期から生産を開始した。同鉱床の鉱石は、破碎とアグロメレーションが必要であり、このため Yanacocha 全体の生産コストは上昇した。

近隣の Cajamarca での水質問題から、2004 年末に Cerro Quilish での探査活動は中断中。2006 年 8 月、求職と水質汚染による農地への影響を理由とした地元住民の抗議活動により、一時的に操業が停止した。

2005 年主要権益保有金山の埋蔵量と生産量

オペレーション名	権益 (%)	鉱量 (mt)	品位 Au(g/t)	採掘タイプ	生産量(t) (権益分)
Yanacocha (ヤマコチャ, ペルー)	51.35	646	0.8	OP	103.6 (53.2)
La Herradura (ラ・エラトウラ, メキシコ)	44	35	0.7	OP	5.7 (2.5)
Kori Kollo (コリ・コジョ, ボリビア)	88	29	0.5	OP	3.1 (2.7)

Kori Kollo(コリ・コジョ,ボリビア,80%)の採掘終了とリーチング回収の継続

Minera Inti Raymi, S.A. (ミネラ・インティ・ライミ社) を通じて、ボリビアの Kori Kollo (コリ・コジョ) 鉱山に 88% の権益を有する。同鉱山は 1985 年にヒープリーチングによる鉱石処理を開始し、1992 年には硫化鉱処理を開始した。2003 年 10 月に採掘を終了し、ヒープリーチングによる生産が続けられているが、ずり混入比が上がってきており浸出処理可能な鉱石量は減少している。

(2) オセアニア

Normandy 社の買収以前は、オセアニア地域の Newmont 社の権益は Vera Nancy (ベラ・ナンシー) 鉱山のみであったが、2002 年 2 月、Normandy 社の買収により豪州に 4 鉱山、ニュージーランドに 1 鉱山を所有するようになった。

2005 年主要権益保有金山の埋蔵量と生産量

オペレーション名	権益 (%)	鉱量 (mt)	品位 Au(g/t)	採掘タイプ	生産量(t) (権益分)
Kalgoorlie (Super Pit Gold Mine) (カルグーリー, 豪)	50	72	1.9	UG、OP	25.4 (12.7)
Tanami Operations (タナミ・オペレーションズ, 豪)	100	16	4.7	UG、OP	15.2
Pajingo (パジngo, 豪)	100	1.6	9.0	UG	6.0
Jundee (ジュンディー, 豪)	100	6.6	7.2	UG	10.6
Martha (マーサ, ニュージーランド)	100	3.5	5.0	OP	5.1
Boddington (ボディントン, 豪 WA) ※開発待ち	66.7	403	0.891	OP	

- ・Pajingo: 地質的に隣接した Nancy North、Nancy、Vera、Vera South、Jandam などの鉱山を含んでおり、坑道の一部がつながっている。
- ・Jundee: 以前は Yandal Operation の三鉱山の 1 つであったが、Wiluna 鉱山は 2003 年、Bronzewing 鉱山は 2004 年 7 月に売却され、Jundee のみが Yandal Operation に残った。
- ・Martha: 同鉱山の露天掘は、2006 年に操業終了が予定されている。この代わりに約 2km 東にある Favona 坑内掘の開発を 2004 年後半から行っている。

(3) その他の地域

インドネシアに Batu Hijau(ハツ・ヒジャウ)鉱山及び Minahasa(ミナハサ)鉱山の権益を有する。また、ウズベキスタンでは Zarafshan(ザラフシャン)鉱山 (Newmont 社 50%、国家地質鉱物資源委員会及び Navoi Mining and Metallurgical Combine50%) の権益を保有する。

Newmont 社の第 5 の主要地域とするために、ガーナで Ahafo(アハフォ)鉱山と Ahyem(アキエム)鉱山を保有しており、それぞれ 2006 年後半と 2007 年に生産開始が予定されている。

2005 年主要権益保有金山の埋蔵量と生産量

オペレーション名	権益 (%)	鉱量 (mt)	品位 (Au: g/t, Cu:%)	採掘タイプ	生産量 (Au:t, Cu:kt) (権益分)
Batu Hijau(ハツ・ヒジャウ, インドネシア)	52.875	698	0.3 Au	OP	22.7 (12.0)Au
			0.64 Cu		270(143)Cu
Zarafshan(ザラフシャン尾鉱, ウズベク)	50	47	1.1 Au	(貯鉱)	7.8 (3.9)Au
Ahafo(アハフォ, ガーナ)	100	157	2.4 Au	OP	
Akyem(アキエム, ガーナ)	100	125	1.6 Au		

Minahasa(インドネシア North Sulawesi 州 Buyat Bay,100%)の公害訴訟問題

2005 年 3 月、インドネシア環境省は、Newmont の現地子会社、PT Newmont Minahasa Raya 社に対し、北 Sulawesi(スラウェシ)州 Buyat Bay で水銀と砒素を同金山近くの Buyat 湾に廃棄したことに伴い鉱害が発生したとして鉱害民事訴訟を行い、133mUS\$の損害賠償を請求した。11 月 15 日、同地裁は同問題に関する法律上の公的管轄権を持たないとして環境省の請求を却下した。Newmont はその判決を歓迎し、環境省と和解交渉を進める方針。なお、WHO と豪 CSIRO の検査では、湾は危険なレベルの重金属は含んでいない旨の結果が提出されている。

2006 年 2 月、Newmont 社は 30mUS\$をインドネシア政府に支払うことで和解し、政府は訴訟を取り下げた。

Zarafshan(ザラフシャン:ウズベキスタン,50%)のウズベキスタン政府による事実上の接収

ウズベキスタン政府が所有する Muruntau 金山(1967 年生産開始、2005 年産金量 56tは世界第 5 位)に貯鉱された低品位酸化貯鉱を対象に破碎-ヒーブリーチングと Merrill-Crowe 法による金銀採取を行う合弁事業で、権益比率は Newmont50%、ウズベキスタン側 50% (国家地質鉱物委員会及び Navoi 鉱山冶金公社)である。産金量は 11.8t/y で実収率 Au60%で、当初計画では 1995 年から 2012 年まで 17 年間操業する計画であったが 2002 年 3 月、Navoi 社の発表によれば低品位鉱を伴う新規金鉱床からの鉱石追加により Zarafshan の事業ライフは 20~25 年間延長されるとした。

ところが、ウズベキスタン政府は、地下資源法を 2002 年 12 月に改定し、金鉱業に対するロイヤルティを 53.7%の高率に設定した(ちなみに銅は 8.1%、亜鉛・鉛 1%)。これに基づき、2006 年 9 月、ウズベキスタン最高裁判所は Zarafshan 低品位金回収合弁事業の 2002~05 年間の納税違反額 36 mUS\$を申し渡し、10 月、Zarafshan 低品位金回収事業を納税違反で告訴され同合弁事業は行き詰った。2007 年 1 月、Zarafshan に有する Newmont の保有資産のオークション中止された。これは Newmont の見積額 450mUS\$に対してウズベク政府の 139mUS\$が折り合っていないことが原因とされている。(以上、Newmont ホームページ、MEG データ、JOGMEC アルマティ事務所情報による)

Ahafo(アハフォ,ガーナ,100%): 2006 年 8 月生産開始

2006 年 8 月に生産を開始した。初期投資額 470mUS\$、露天掘-CIL により粗鉱処理量 6.35mt/y、採掘能力 33mt/y(100kt/d)、年産金量 16.3t(金回収率 87.5%)の設計能力である。

Akyem(アキエム,ガーナ,100%): 2008 年生産開始予定

2006 年 1 月、Newmont は Akyem の残り 15%の権益を Kenbert Mines から取得し、権益は 100%となった。現在、F/S 及び環境許可手続き中で、初期投資額 525mUS\$、生産開始は 2008 年第 3 四半期、露天掘-CIL により採掘能力 25mt(75kt/d)、年産金量 12.4t(金回収率 87.5%)と設計されている。

6. 探鉱戦略

(1) 概要

Newmont は生産により減少する資源を補い、更に資源を増していくことを目的に探鉱活動を行っており、そのターゲットはグリーンフィールドからの場合、トータルキャッシュコスト 150 US\$/oz、既存鉱山周辺の場合、180US\$/oz 以下となる鉱床である。

Newmont は、探鉱を企業活動の核の一つと考えており、地化学探査や物理探査の専門家の社内育成に力を注いでいる。その結果、過去 16 年間、米国・ペルー・豪州・インドネシア・ガーナ・トルコ・ギリシャにおいて、14 件の新規鉱床の発見、12 件の既存鉱山周辺での鉱床発見を記録している。保有鉱山のほとんどが自主探鉱により発見されたものである。一方で、同社はジュニア・カンパニーへの投資も拡大してきている。

Newmont の探鉱費は、1996 年の 100.4mUS\$ から減少傾向し 2001 年には 44.8mUS\$ となったが、2002 年以降、金価格の高騰に伴い探鉱費は増加傾向に転じ、2002 年 74.8mUS\$、2003 年 81.5mUS\$、2004 年 147.5mUS\$ に増加したが、2005 年 147mUS\$、2006 年度予算はアニュアルレポートでは 158mUS\$ (MEG では 134mUS\$) と増加率は鈍っているものの高額な探鉱投資が継続されている。

(2) 対象鉱種

探鉱予算の大部分が金を対象としている。

(3) 対象地域・探鉱段階

対象地域は、米国と中南米に集中しておりそれぞれ 30%、28% を占める (MEG)。そのほか豪州 16%、アフリカ 14%、東南アジア 7% など。

探鉱段階に関しては、アニュアルレポートによれば 2006 年の探鉱予算は既存鉱山周辺探鉱に 56%、初期探査に 44% が当てられる。(MEG では Mine Site 61%、Grass Roots 39%)

(4) 最近の動向

北米

Newmont の北米での探鉱活動は、Nevada の Carlin 金鉱床帯の既存鉱山周辺で主に行われており、既存鉱山の鉱量確保を目的としている。その結果、現在開発中の Gold Quarry South Layback や Leville のほかにも幾つかの鉱体が見つかっている。

Nevada では、Phoenix と Leeville に試錐調査が集中的に実施されている。(Phoenix では処理プラントの試運転が 2006 年 1 月に開始され、4 月から生産を開始する予定である。Leeville では主要な 3 本の鉱体 (West Leeville, Four Corners, Turf) が見つかっている。Sage layback は Twin Creeks Mega の北側拡張部分にあり、2008 年末からの露天掘生産を予定。)

中南米

中南米地域では、ペルー・Yanacocha 鉱山の周辺探鉱を主に実施しており、El Tapado、Corimayo、Chaquicocha Sur といった鉱床等が発見されている。このほかにペルーでは、首都リマの南東 550km に位置する Santa Rosa 鉱山の周辺探鉱に関して同山を所有する Andean American Mining 社と JV を結んだ。Chaquicocha、Tapado Oeste (Corimayo)、Conga など探査が続けられている。(生産開始予定年はそれぞれ 2006 年末、2010 年、2011 年)

Chaquicocha は酸化鉱床であるが、深部に硫化鉱床も確認されている。Conga では有望な 3 鉱床 (Chailhuagon, Perol, Amaro) が把握されている。

東南アジア

インドネシアでは、Sumatera (スマトラ) 島の Martabe 鉱床の探鉱を実施しており、資源量 36mt、金品位 1.9 g/t が計上されており、現在 F/S を実施中である。

Batu Hijau では Elang 銅・金プロジェクトにより、既存鉱区の拡張を計画している。

豪州

豪州では、主に既存鉱山の周辺の探鉱を実施している。鉱山周辺探鉱として、西豪州の Yandal や Kalgoorlie 地区・北部准州の Tanami 地区・Queensland 州の Charters Towers 地区における金・

銅の探鉱、西豪州の Golden Grove における亜鉛・銅・銀探鉱がある。

豪州の Tanami Callie、Jundee、Pajingo 及び、ニュージーランドの Martha Hill 鉱床の拡張を目指して、周辺探鉱が実施されている。

2006 年 2 月、Newmont は Boddington の権益の 22.22%を Newcrest Mining から追加取得し、合計で 66.7%とした。2005 年末の埋蔵量 (Proven+Probable)は金 239トン(権益 66.7%分)、銅 327 千トン(同)。2008 年末の生産開始が予定されている。

アフリカ

ガーナでは Ahafo、Akyem 両鉱床が発見されており、Newmont はガーナが同社 5 番目のコア地域となることを期待している。(Ahafo は、2003 年 12 月にガーナ政府と外国投資に関して合意し、開発が開始されている。開発費用は 350mUS\$で、2006 年 1 月 9 日に生産が開始され、2006 年の金生産量は 8t、操業が安定すると 15.6-17.1 トン/年と予想されている。Akyem では、2006 年 1 月に Newmont は残り 15%の権益を Kenbert Mines から取得する手続きを完了し、権益は 100%になった。生産開始は 2008 年半ばに予定されている。)